

令和4年

雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

【会派代表質問日程 令和4年3月2日】

令和4年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表 目次

順番	日程	会派名	質問者		質問方式	ページ
			議席番号	氏名		
1	3月2日(水) 午前9時30分～	政友クラブ	14	白築 俊幸	一括	1～3
2		雲南木鶏の会	10	中林 孝	一括	3～6
3	3月2日(水) 午後1時00分～	明誠会	15	周藤 正志	一括	6～9

令和4年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

令和4年2月24日

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	政友クラブ 白 築 俊 幸 (一 括)	1. 新年度当初予算 について 2. 人口減少対策に ついて 3. 農林業施策につ いて	(1) 新年度当初予算に込めた市長の思いを伺う。 (1) 「住みたい田舎」全国ランキング1位に選ばれたことは喜ばしいことであり、雲南市を全国にアピールできたが、人口の社会増を最優先課題に掲げる本市において、この好機をどう具現化していくのか。 (2) 「特定地域づくり事業協同組合」は、設立認可に向けて動き出した。地域にとって、真に有効な施策になることを期待するが、この事業が永続するための課題は何か。 (1) 農業 ① コロナ禍の影響もあって、R3は米価の大幅な低下をもたらした。コメを巡る情勢は、引続き需給緩和の方向にあるが、本市のR4年産の生産予定数量はどうなっているか。 ② 米依存からの脱却に向け、来年度の国の施策でも、水田への園芸作物導入が大々的に打ち出されているが、本市においては、既に園芸振興補助金により、ハウスへの補助を行っている。この補助事業の推進状況はどうか。また水田園芸に対する市内農家の意識はどうか。 (2) 林業 雲南市林業振興ビジョンの骨子案として、森を活かす、木で稼ぐ、人を育てる、の3つの基本方針が示された。 ① 「森を活かす」について、伐って、使って、植えて、育てるという林業の循	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		4. タブレット配布 後の状況について	<p>環サイクルが、今、必ずしも回っていない。その原因をどのように分析しているか。</p> <p>②今後の世界の重要施策となる CO2 対策にとって、森林は吸収源対策として大きな役割を持つが、間伐をどのように進めていくのか。</p> <p>③「木で稼ぐ」について、木材価格が上昇するウッドショックが起きたが、その恩恵は、川上にまで及んではない。その原因をどのように分析しているか。また、その対策はあるのか。</p> <p>④「人を育てる」について、本市には2つの森林組合といくらかの林業事業者があるが、基本的に、個人林家というものは存在していない。何をどう育てるのか具体策を問う。</p> <p>(3) 畜産</p> <p>①本年 10 月、鹿児島で第 12 回和牛能力共進会が開催される。近年、低迷する本県和牛の評価の中で、奥出雲和牛の復権に向けて具体的な対策はどうするのか。</p> <p>②一方で、個別飼養農家が減少し、和牛生産体制が弱体化していく中、これに対する何か対策はあるのか。</p> <p>(1) GIGA スクールのもと、先般、小中学校生徒にタブレットが配布されたが、活用状況はどうか。コロナ禍でのメリットは当然あると思うが、マイナス面はないか。</p> <p>(2) 人と人との関わりは、やはり、フェイスツーフェイスが望ましいと思うが、学校教育の中でのタブレット使用に係る基本的な考え方を問う。</p> <p>(3) 「スマホ脳」への警鐘、スティーブ・ジョブスもビル・ゲイツも、開発者自身が怖さを分かっていたことから、子供のスマホ利用を厳しく制限していた</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>5. 健康長寿への取 り組みについて</p> <p>6. 総合センターの 体制について</p> <p>7. 防災対策につい て</p>	<p>という。子どもたちのゲーム等、時間を決めてあっても、なかなか家庭では守られていない状況にある。学校と家庭、あるいは地域が一体となって対応しなければならないが、今後、どう対応していけばいいのか。</p> <p>(1)長寿は喜ばしいことであり、そして、できるなら健康長寿でありたい。厚生労働省発表の2019年の「健康寿命」は、男性72.68歳、女性75.38歳であり、島根県は、男性72.59歳、女性76.42歳であった。本市の状況はどうか。</p> <p>(2)「うんなん健康都市宣言」、あるいは「めざせ健康長寿日本一！」を掲げた健康増進実施計画が策定されているが、端的に今後の取組を問う。</p> <p>(3)これまで精力的に取り組んでこられた地域包括ケアシステムは、目標に対する達成度はどうか。また今後、さらに取り組まなければならない課題は何か。</p> <p>(1)新年度において、総合センターの体制、機能の見直しを運営方針に掲げられた。具体的な中身はこれからだと思うが、見直しが必要と判断されたのは、現状をどのように把握されてのことか。</p> <p>(2)災害対策、コロナ対策等により、絶対的にマンパワーが不足している状況の中で、総合センターの体制見直しも含めた今後の定数管理の考え方を問う。</p> <p>(1)これまでは、大きな災害がなかったことから、各種防災計画は結果的に計画のための計画であった。風水害については昨年経験し、先般は、小規模ながら隣の宍道町を震源とする地震も発生した。改めて、震災編も棚卸してみる必要があると思うがどうか。</p>	
2	雲南木鶏の会 中 林 孝 (一 括)	1. 令和4年度当初 予算について	<p>(1)石飛予算の目玉は何か、石飛カラーはどう反映されているか。</p> <p>(2)人口減少対策は喫緊の課題だ。人口対策のメニューは多いが成果に結びつくか。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		2. 産業振興について	<p>(3) コロナが収束しない中、市民への対策（3回目接種、所得や雇用不安）や中小企業への対策（売上、事業承継等）は十分か。</p> <p>(4) 昨年の7月豪雨災害復旧対策とコロナ禍で財政規模が拡大している。国からの交付金で賄える部分もあるが財政健全化は大丈夫か。</p> <p>(1) 神原企業団地について</p> <p>① スマートインターチェンジ開通に合わせ企業誘致は進んでいるか。</p> <p>② 一期工区に続く二期、三期の団地造成が急務と考える。造成計画について伺う。</p> <p>③ 土地開発公社を利用し、周辺整備も必要と考える。構想と方針を伺う。</p> <p>(2) 林業について</p> <p>① 本市の森林面積、森林の所有者（数）、森林資源（量）の現況と林業経営の実態について伺う。</p> <p>② 一経営体当たり採算の取れる森林規模はどれくらいか。</p> <p>③ 本市の実態に合わせた林業施策が必要と考える。本市は産業としての林業を育成する考えはあるか。あれば、どのような施策を展開する考えか。</p> <p>④ 狭義の林業は「川上」としての一次産業であり現状では十分な収益は上げられない。林業を広義の産業として発展させるためには付加価値をもたらす「川中」「川下」も含めた産業の形成が必要と考える。特用林産物も含め、広く裾野を広げた産業として育成する考えはあるか。それは実現可能なビジョンか、実現するためにはどうするか伺う。</p> <p>⑤ 島根県ではエリート樹木で循環型林業を加速化する考えと聞く。エリート樹木とコンテナ苗について評価と導入に向けた行政の役割について伺う。また、こうした技術革新により、本市で循環型林業は成り立つか伺う。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>⑥所有者不明の山林や手入れの行き届かない山林が増加している。荒廃させないよう山林対策が必要と考えるが所見を伺う。</p> <p>⑦山林を荒廃させないためには条例（景観や利用・譲渡制限、市行造林など）も必要と考える。本市の考えを伺う。</p> <p>(3)農業について</p> <p>①農業振興には生産者と販路の確保が不可欠だ。農業の担い手不足にどう対処するか。野菜の販路は「食の幸」事業に替え「道の駅」の活用を表明されたが具体策を問う。</p> <p>②営農組合の実態と課題を伺う。課題があるとすれば、どう解決に向け取組むか伺う。</p> <p>③ブランド米「たたら焔米」をどう進化させるか。補助金の減額が予定されているが作付農家の意欲減退につながる恐れがある。方針の見直しが必要ではないか。</p> <p>(4)観光振興について</p> <p>①本市の観光振興に対する基本的な考えと具体策（本市の何が売りか、何を売りにするか）を伺う。</p> <p>②本市の桜は、2月下旬から河津桜に始まって、ソメイヨシノ、2月の御衣黄と約2カ月にわたって楽しめる。他の地域にはない資源だが、期間が2カ月と観光産業としてこれ一本で進めるのは難しい。桜以外の資源とも併せて取り組まなければならないと考えるが所見を伺う。</p> <p>③斐伊川堤防桜並木が「日本さくら名所100選」に認定され昨年30年を迎えた。本市の「さくらの会」の正常化に併せ、30周年記念式典を盛大に開催し、</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>これを契機として更なる観光振興を図るべきではないか。</p> <p>④ J R 西日本は雲南圏域の広域観光を行政と一緒に考えてい、と提言し「あめつち」の木次線入線を決めた。「あめつち」と広域観光をどのように結びつけるか。ひいては木次線存続、活性化につなげていかなければならないと考えるが所見を伺う。</p>	
3	明 誠 会 周 藤 正 志 (一 括)	1. 雲南市が衰退しない持続可能なまちづくりをどう進めるか	<p>(1) 人口減少対策について</p> <p>① 令和 6 年 (2024 年) の目標人口が見直され、33,800 人とされたが、設定が低いのではないかと。また、2030 年、2040 年になっても市長の公約に反し、人口減少に歯止めがかかっていないのではないかと。</p> <p>② 合計特殊出生率を令和 6 年には 1.86 に引き上げる目標だが、その方策と実現できるとされる根拠は何か。</p> <p>③ 社会増のためには、20 代 30 代の転出を抑制し、U ターンを含む移住推進の施策を強力に展開しなければならないが、他の自治体も同様であり、一体どこに力を入れて、他との差異、優位を図るのか。</p> <p>以下、人口減少を与件として、次の 5 つの面から持続可能なまちづくりを問う。</p> <p>(2) 行財政運営</p> <p>① 中期財政計画が示された。基金の取り崩しが続く、実質公債費比率も上昇し、令和 8 年には 15.0%に達する見込みだ。新たなそして必要な行政需要に対応しながら健全財政を堅持できるのか。</p> <p>② 現場を重視した市民目線、市民感覚のきめ細かな行政サービスが求められているが、総合センターのあり方や職員体制 (定員管理、専門職、委託、会計年度任用職員など) をどう見直していくのか。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>③先般、職員の不祥事が発覚し、処分も行われた。大東町自治振興協議会は合併直前に設立され、基金による運用がされていたようだが、他町にはない組織であり、経緯、内容を明らかにすべきである。監査も数年実施されていないが、今後どうするのか。</p> <p>(3) 社会的共通資本</p> <p>①自然環境 脱炭素宣言について、実行計画をつくり啓発をしていくだけではダメで、個人、家庭、学校、事業所がそれぞれに実践し、生活様式や暮らし方を変えていかなければならない。時間と労力がかかる取り組みとなるが、どのような見通しか。また、脱プラスチックもあわせて取り組むべきだ。</p> <p>②社会的インフラストラクチャー 公共交通の最大の課題は、高齢者、障がい者、生徒等の移動手段をいかに確保するかだ。市民バス、だんだんタクシー、乗合バス、スローモビリティなど、利便性を含めてどう最適化していくのか。</p> <p>③制度資本 制度そのものは改正していくことができるが、それを担う人材をいかに確保していくかがより大きな課題だ。市として医療従事者、介護・福祉従事者、子育て支援に従事する人などをどう確保していく考えか。</p> <p>(4) 人づくり</p> <p>①子育て支援策は主に保護者の経済的負担軽減と保育サービスの拡充に力を入れてきたが、市長の基本的な考えはどうか。公立と民間委託、子育て支援センターのあり方についてどう考えているのか。(例 斐伊保育所、木次子</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>育て支援センター)</p> <p>②子どもを取り巻く環境において、貧困、いじめ、虐待がなくならなくては、持続可能な成熟した社会とは言えない。市の実態とそれへの取り組みはどのようなのか。</p> <p>(5)産業振興</p> <p>農林業</p> <p>①一番の課題は担い手だ。10年後の農業従事者はどうなっているのか。どのような予想のもとでどう対処するのか。</p> <p>②食料自給率を高め、地産地消を進めなければならないが、食の幸発進推進事業に代わるソフト事業等で進展するのか。</p> <p>③プレミアムつや姫以外で付加価値のあるものを地産都商するのは結構なことだが、例えば山陽方面で一体何を売るのか。</p> <p>④市長は、有機農業に対してどのような考え、方針なのか。</p> <p>⑤市の最重要作物である「米」の価格下落に対して市としてなぜ対策を講じないのか。</p> <p>⑥林業振興ビジョンの策定は遅まきながらではあるが必要なことである。10年後の市の山の姿や林業はどうなっているのか。</p> <p>商工業</p> <p>①中心市街地活性化事業は所期の目的を達成できていない。この成功なくして地域経済の活性化はありえない。市民が待望するものとなるのか。取り組む姿勢と内容及び見通しを示されたい。</p> <p>②働く場の確保のためには、企業誘致・留置に全力をあげねばならない。造成する神原企業団地が塩漬けにならないよう市長のトップセールスなど、どう取</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>り組み実を結ばせるのか。</p> <p>③10 年後には事業所、商店がかなり減ると予想されるが、がんばっている既存の事業所、商店をどう支えていくのか。</p> <p>④キャッシュレス、デジタル化推進のため電子地域通貨の導入に取り組むとのことだが、これを地域経済と地域コミュニティの活性化にどう結びつけていくのか。</p> <p>⑤農商工連携の5つのプロジェクト（スパイス、スイーツの杜、たまご、さくら、山の幸）は中途半端で尻すぼみ状態だ。時間を要してもいいので全国水準の特産品（土産品）をつくるべきだ。</p> <p>(6)健康・文化</p> <p>①2025 年には団塊の世代 800 万人が 75 才以上となる。市長の健康長寿・生涯現役に対する基本的な考え、方針はいかなるものか。</p> <p>②地域の文化を守り、育むことはもとよりだが、市長が力を入れたいとする文化振興はどのようなものか。</p>	